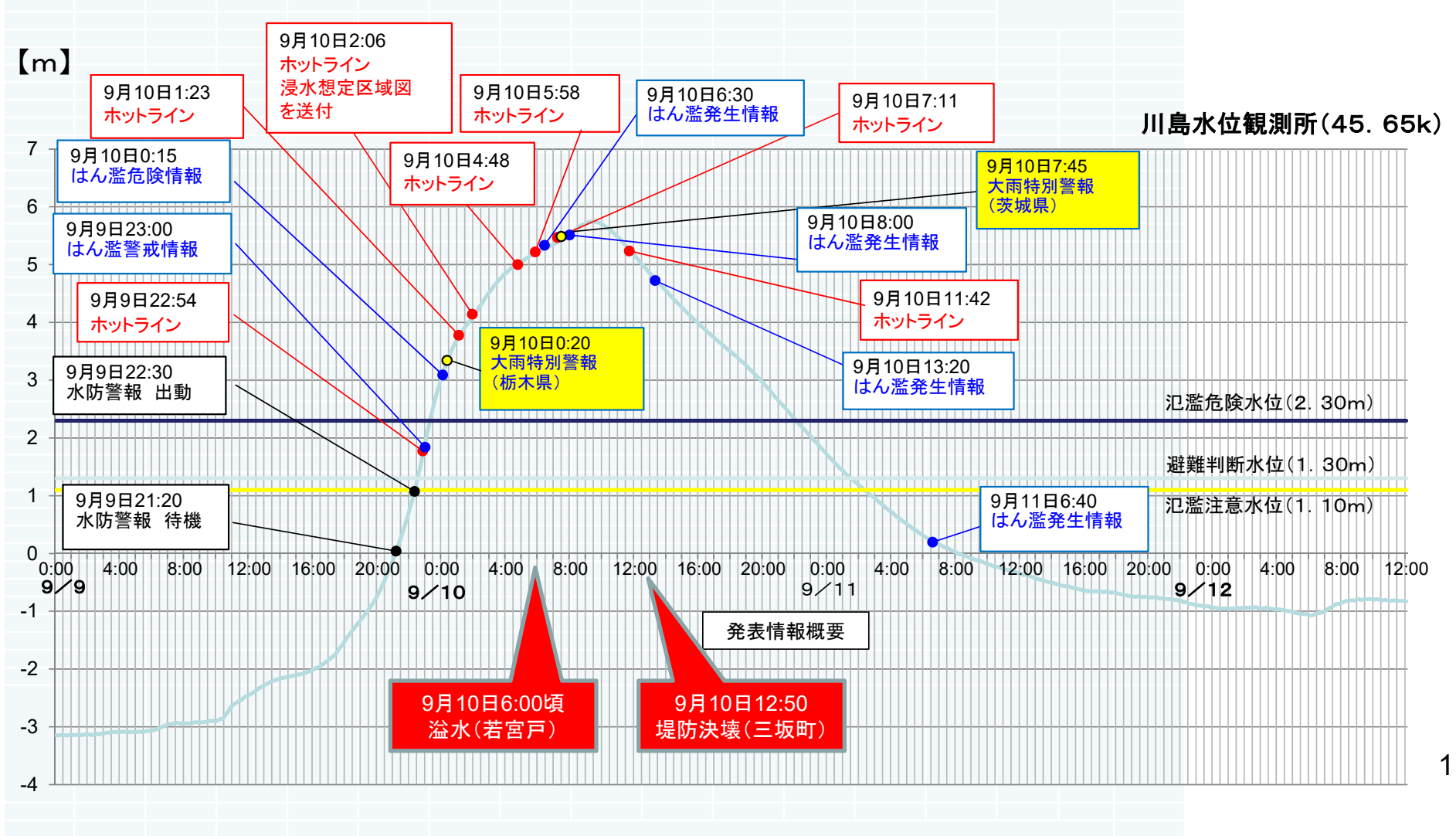


# 事務所長等からのホットライン(鬼怒川の事例)

➤ 水位の状況や今後の見通しに応じて、事務所長から市区町村長等に、ホットラインにより、情報を提供



# ホットラインからの情報提供内容(事例)

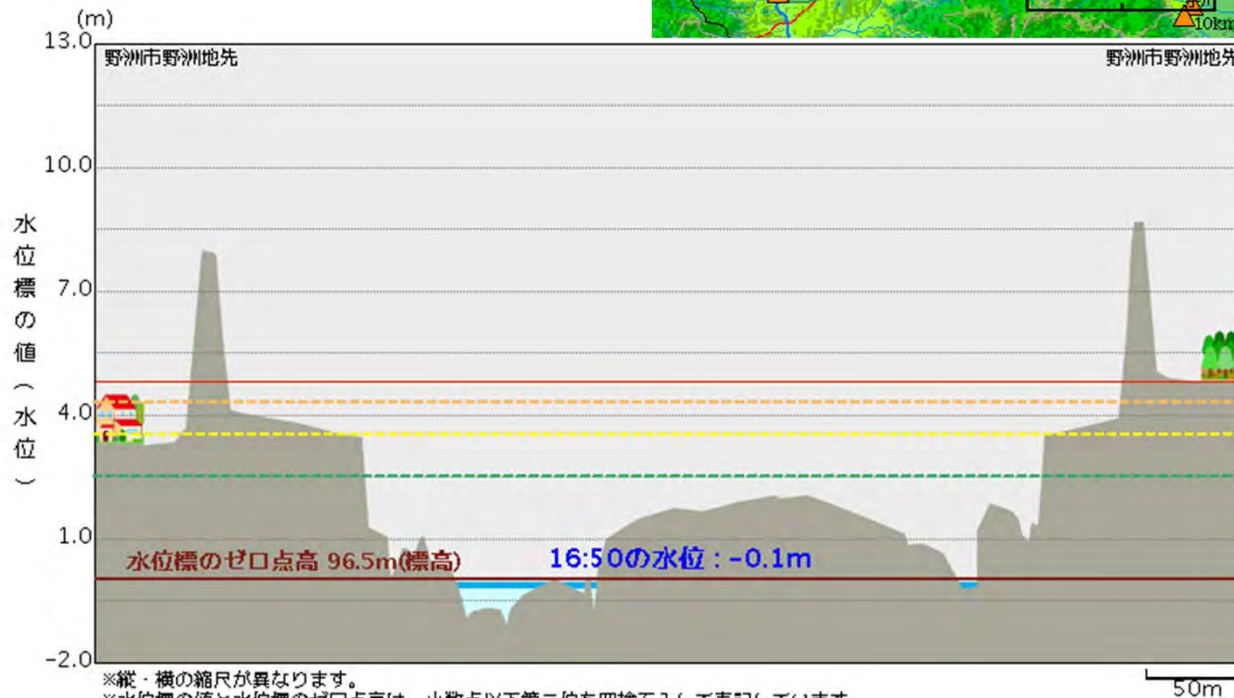
ホットライン(事務所長→市町長)による情報提供				
段階	避難判断水位超過 レベル3段階	はん濫危険水位超過 レベル4段階	はん濫発生 レベル5段階	
目的等	はん濫警戒情報が発表され、避難について検討する段階であることについて、洪水の見通しを含めて市町村長へ情報提供する。	市町村長が避難にかかる判断を実施可能とする具体的情報提供を行う。	はん濫発生状況を当該市町村長に情報提供する。	
提供する情報 内容	洪水予報等	現在、発令中の洪水予報等		
	予測水位情報	基準水位観測所等における水位の見込み		
	危険度レベルの見込み	今後見込まれる危険度レベル	—	
	施設の操作状況等	上流のダムの洪水調節状況		
		—	【必要に応じて】 ポンプの停止、樋門等の操作状況	
	情報の入手先等	情報の入手先(河川情報・CCTV 映像等) 等		
	浸水想定被災想定被災状況	はん濫により浸水が想定される地区 過去の洪水との比較等、切迫性の確認	溢水、堤防決壊が想定される箇所、区間 はん濫した場合の浸水範囲や浸水到達時間の見込み	氾濫発生
水防、避難、通行止め等に関する助言等	—	水防資材や人員不足に関する助言(河川管理者の協力可能内容、自衛隊等外部への応援要請)等	水防、通行止め等	現地状況に応じて水防、通行止め等対応の強化等を依頼する。
			水防、避難等	水防、避難等に関して必要な支援についての要請を聴く。

H27.5調査第一課整理(整理元:H25年11月Ver.0.1 近畿地整河川部作成『危機的な洪水状況における災害対策本部幹部の対応手順 ~平成25年台風18号洪水での教訓を踏まえて~』)

# 野洲川(国管理区間)におけるホットラインのタイミング

➤ 野洲観測所の水位が避難判断水位(4.30m)に到達、はん濫危険水位(4.80m)に到達した時点及び氾濫が発生した時点でホットラインによる情報提供を実施

## ○野洲観測所



※縦・横の縮尺が異なります。  
 ※水位標の値と水位標のゼロ点高は、小数点以下第二位を四捨五入して表記しています。

氾濫が発生



ホットライン  
の主な内容

決壊・氾濫  
の情報

はん濫危険水位  
4.80m  
河川がはん濫するおそれのある水位



危険度  
現象の予測

避難判断水位  
4.30m  
避難情報発表の目安となる水位



水位情報  
現象の予測

はん濫注意水位  
3.50m  
河川のはん濫の発生を注意する水位

水防団待機水位  
2.50m  
水防団が待機する目安となる水位

## ホットラインの具体的な運用(県管理河川)

河川管理者		市町	
水位・情報	双方向のホットライン		発令等
氾濫危険水位	土木事務所長	市長 (副市長・部長)	避難勧告
避難判断水位	土木事務所 河川砂防課長	防災担当 課長	避難準備・ 高齢者等避難開始
氾濫注意水位			消防団が出動
水防団待機水位			消防団が待機

**ホットラインの主な内容**

- ◆ 現状到達水位、予想到達水位情報
- ◆ その時点で判明している河川の損壊箇所や浸水発生等の情報

水位の名称	発表される避難 情報(目安)	野洲川上流		杣川	日野川		草津川
		横田橋	水口橋	北杣橋	桐原橋	安吉橋	西矢倉
氾濫危険水位	避難勧告 避難指示(緊急)	3.90	1.45	4.00	5.10	4.10	4.30
避難判断水位	避難準備 ・高齢者等避難開始	3.50	1.20	3.50	3.80	3.40	3.40
氾濫注意水位	消防団が出動	2.50	1.00	3.00	3.00	2.70	3.10
水防団待機水位	消防団が待機	1.50	0.65	2.00	1.80	1.80	2.30
避難判断水位から氾濫するまでの想定時間		4時間	2.5時間	3時間	2.8時間	2時間	4.5時間

## 水位観測局位置図(甲賀・湖南圏域)

- 避難の基準水位は複数の観測所で設定されています。

